



フィンセント・ファン・ゴッホ「ドービニーの庭」1890年  
Vincent VAN GOGH (1853-1890) / Le jardin de Daubigny



# セリオ便り

## 二月号

— 2022 —



前略 おえ気ですか？ 我が家の芝罘前では「まくら」  
 が造れる習いの大雪で「たが少」づつ寒さがゆるみ...  
 春の近さが感じられるように「りり」した。少々「訳」あり  
 広島に行くと「りり」した。旧知の友人夫妻が「コ」  
 福の中で「こ」も「りり」した。状況で「りり」に「美術館」  
 好きの「私」は「唯一」の「美術館」した「広島美術館」も  
 案内「下」さ「り」した。JRの「新幹線」で「往復」16時間  
 トンネル「降り」の「強行」で「たが」館内は「私」達「だけ」どう  
 肉體「ま」で「わか」か「一時」間「時」の「止」ま「り」た「り」る「り」に「感じ」  
 る「賀」沢「は」た「ら」れ「る」感「動」が「た」幸「せ」一「人」占「め」に  
 付き「合」わ「り」た「り」た。ゴッホの「ドービニーの庭」は  
 ゴッホ「七」く「り」る「二」週「間」程「前」に「制」作「さ」れた「代」表「作」だ  
 2008年の調査で「画面」中央「左下」には「黒」い「黒」猫「が」  
 描「か」れて「後」に「塗」り「つ」ぶ「さ」れて「た」こと「が」確「認」さ「れ」て「ま

す。謎の「多」い「ゴッホ」の「生涯」だ。「ひまわり」の「作品」は「ど」れ  
 も「好」ま「い」な「れ」ず「他」の「作」品「も」狂「気」の「片」り「ん」が「感」じ「ら」れ「て」  
 若「年」な「り」た。この「ドービニー」の「庭」は「ど」こ「か」解「放」さ「れた」  
 平「子」と「希」望「を」感「じ」ら「れ」て「え」え「あ」つた「黒」ネ「コ」が「消」さ「れ」  
 て「ま」ど「こ」ろ「が」意「味」の「あ」る「り」た。ゴッホは「同」じ「構」図「で」  
 もう「一」枚「(スイス個人所蔵)」は「黒」ネ「コ」が「描」か「れ」て「ま」す。  
 本「当」に「困」つた「人」で「気」の「狂」ろ「程」ゴッホ「キャン」を「大」好「ま」で「ま」は  
 に「住」ん「だ」黄「色」の「家」か「ら」嫌「わ」れ「て」「取」ら「れ」て「何」度「も」  
 矢「心」し「ま」く「り」た「後」の「矢」心「結」晶「早」を「ゴッホ」印「さ」す「り」た。  
 む「ろ」本「当」に「止」めて「し」、「と」り「愛」人「で」た「が」晩「年」の「こ」の「絵」か  
 ら「拳」銃「に」よ「り」自「殺」説「は」「二」層「う」と「確」信「さ」せ「ら」れ「ま」す。も「ち」ろ「ん」  
 私の「七」才「想」で「狂」気「の中」は「も」...「倍」し「さ」し「愛」の「あ」ふ「れ」て「ま」した。ゴッホ「へ」  
 若「手」ア「レ」ル「ヤ」が「先」知「さ」れた「よ」い「合」り「が」...「も」う「一」つ「光」輝「く」ま「る」  
 皆「様」も「ご」自「愛」の「上」お「り」下「さ」さ「り」た。感謝「を」込「め」て「致」し「ま

令和四年二月五日

松本 幸彦 謹

